

第IV章 地域別構想



繪：鬼頭 那奈

第1節 地域とまちづくり

1 地域別構想の役割

地域別構想は、地域の特性を踏まえ、町民の身近な視点からのまちづくりを進めるための指針としての役割を担います。このためには、町民自らが関わり、行政と将来像の共有化を図ることが重要です。

全体構想において掲げた「目指すべき都市の姿」の実現のために、土地利用、道路・交通体系及び環境整備などの方針を地域の実情に即してより詳しく示すものです。

2 地域区分の設定

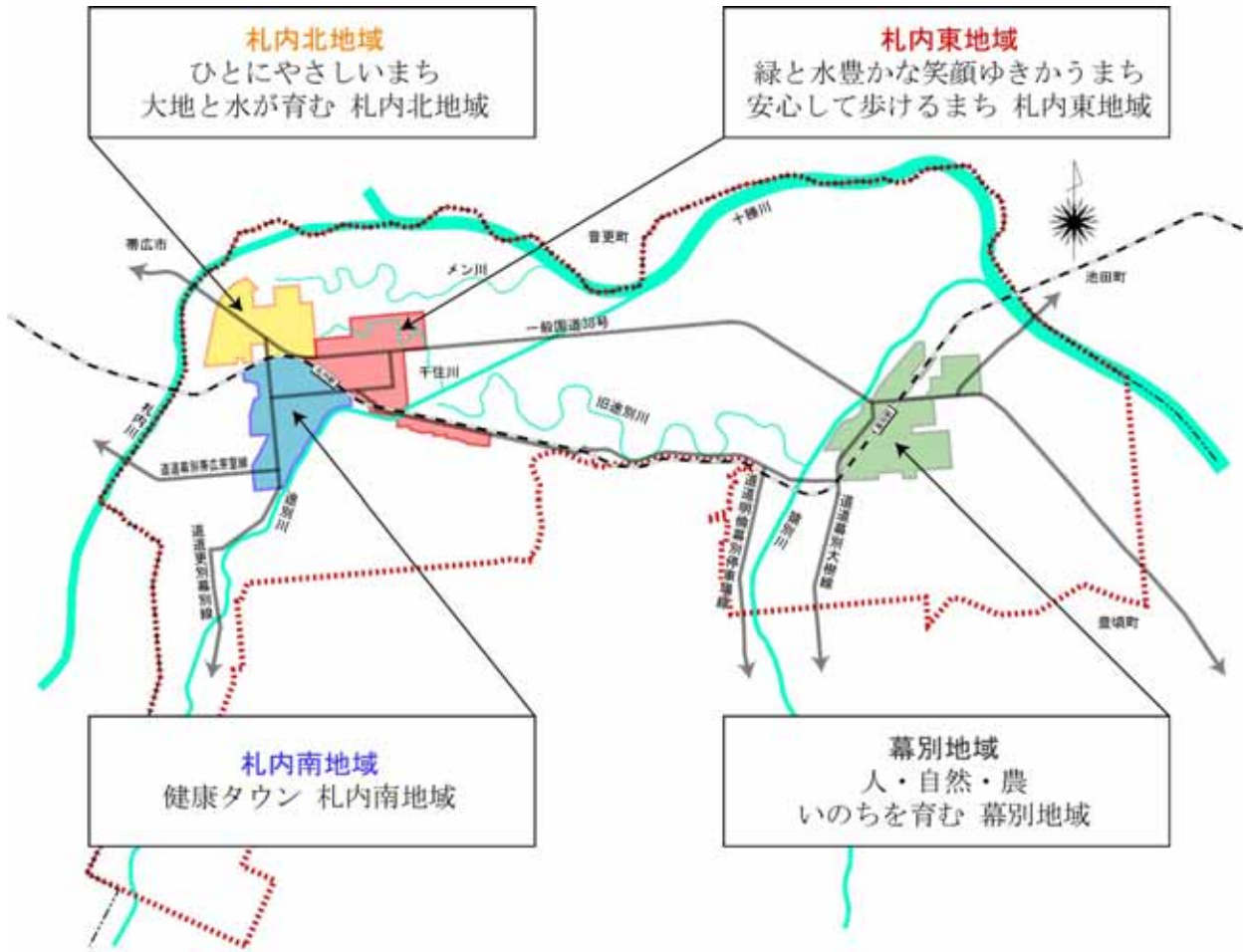
地域別構想は、その役割を考え、地理的条件や地域コミュニティのまとまりなどの社会的条件などから地域区分するべきで、具体的には、以下のような要素を勘案して地域区分の設定をすることが考えられます。

- ・地理的、物理的な要素：河川などの地形や鉄道・幹線道路などによる区分
- ・社会的な要素：公区、小・中学校区及び日常買物圏など生活面でのつながりによる区分

幕別町では、地域別構想策定にあたって、以上のように地域区分の考え方を整理し、地域を設定しました。

住民参加を重視し、身近な生活環境レベルの内容を盛り込んでいくために、共通の課題がテーマとなるよう地域コミュニティのまとまりや日常生活上の交流を考慮し、市街地内を小学校の通学区域で4地域に区分しました。

図 地域区分



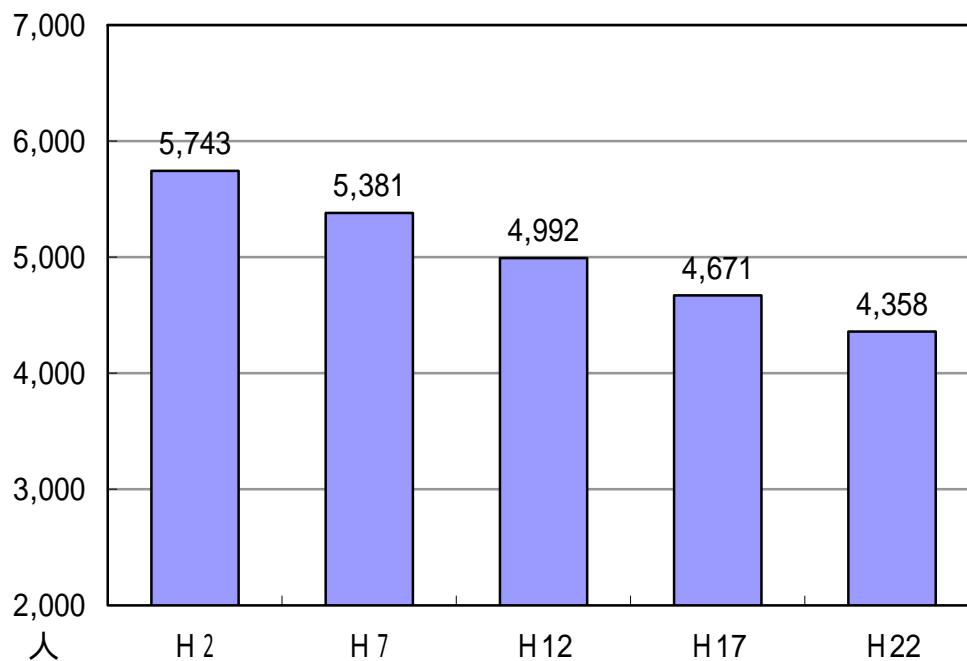
第2節 幕別地域

1 地域の概況

幕別地域は、JR幕別駅周辺の商店街を囲むように住宅地が配置されています。また、町役場や商工会といった公的施設、文教施設や保健福祉施設が機能的に配置され、その周辺には明野ヶ丘公園や幕別運動公園といったスポーツ・レクリエーション施設のほか、豊かな自然に恵まれた農村地帯が広がり、歴史、文化、自然が一体となった市街地を形成しており、古くから本町の中心的役割を担ってきました。

近年、少子高齢化が進行し、平成2年をピークに人口は減少傾向となっており、平成22年9月末住民登録人口は約4,400人となっています。

図 人口の推移（幕別地域）



参考資料：住民基本台帳（各年9月末人口）



2 地域の課題

現在、高齢化の進行と人口減少への対応が大きな課題となっており、これらが原因による商業機能を含めた地域活力の低下や、地域コミュニティなどの崩壊、買い物弱者の発生が危惧されているところです。

今後、少子高齢化が一層進行することが予想されるため、お年寄りよりもより子どもや障がいを持つ方など、全ての方が安全で安心して暮らせるまちづくりが必要となっています。

表 高齢化率（幕別地域）

H12	H17	増減
22.57%	27.53%	4.96%増

参考資料：国勢調査（65才以上の人口比率）

- ・少子高齢化がより一層進行することが予想されることから、歩行者や自転車の交通に安全性の高い道路整備や、これまで以上に利用しやすい公共交通機関の整備が求められています。
- ・商業施設の減少による商業地の活力低下や買い物弱者が発生していることから、日常の買い物など生活利便性の向上が求められています。
- ・地域内にある豊かな自然資源を活かした公園・緑地については、その保全と機能の維持が求められており、市街地周辺にある優良農地は、幕別町の基幹産業である農業の振興を促し、適切な維持・保全に努める必要があります。
- ・迅速かつきめ細かな除排雪体制の確保が必要です。

地域別意見交換会にて

- ・街中は寂しくなり、買い物をするにしても生活がしづらい。
- ・場所によっては商店がまったくない。既存の空き店舗を利活用を図って欲しい。

【住民の声】

- ・幕別町の基幹産業は農業であるので、農との関わりを持った活性化を考えていく必要がある。

3 目指すべき地域の姿

幕別地域の地域づくりの目標を、これまで地域の中で形づくられてきた個性を生かすとともに、地域の課題を踏まえて次のように設定します。

人・自然・農 - いのちを育む 幕別地域 -

思いやりあふれる地域づくり

幕別地域は、町の中心地として古くから幕別町の暮らしを支え、地域コミュニティなどが育まれてきました。この地域最大の財産である「人と人とのつながり」を守るため、思いやりあふれる地域づくりを目指します。

都市施設においても、子どもからお年寄りまですべてのひとに対して思いやりのある整備を進め、安全・安心で快適な都市空間の形成を目指します。

農業の魅力を活かした地域づくり

幕別地域の市街地周辺を取り囲む農地は、美しい農村景観を創出し、人々に命の息吹を感じさせます。各地で新鮮な地場農産物の直売が行なわれており、住民に潤いを与えています。

農村景観を守り、都市生活と農業との交流を進め、農を感じ、いのちを育む喜びあふれる地域づくりを目指します。

豊かな自然を活かした地域づくり

新田の森や明野ヶ丘公園、十勝エコロジーパークなど市街地内外の緑、豊かな森林や実り豊かな農地、澄んだ流れの猿別川はひとびとに安らぎを与えてきました。

これらの緑と水を守り、市街地と連続した自然環境豊かな地域づくりを目指します。

【住民の声】

・住民のまとまりが良く、人と人との繋がりが感じられる。

【住民の声】

・新田の森や幕別神社など、まちの中心に森があって潤いがある。



4 地域づくりの方針

(1) 土地利用の方針

基本的に1戸建てのゆとりある住宅地を中心に形成しますが、中心商業地周辺や公共施設を中心とした地区では、中密度な土地利用を図ります。

また、商業地の活力向上を図るために、商工会と連携して空き店舗なども活用しながら、少子高齢化に対応した商店街づくりを進め、日常の買い物など生活利便性の向上に努めます。

この他、既成市街地に存在する空き地・空き家の顕在化について、利活用に向けた検討を進め、快適で安全・安心な住環境の維持に努めます。

市街地周辺に広がる農地は、都市生活と農業の交流の場として位置づけ、グリーンツーリズムや環境教育などの推進により観光及び情操教育の場となるよう誘導します。

(2) 交通体系の整備方針

主要幹線道路である3.2.203中央通(国道38号)については、市街地内交通の緩和と交通安全向上のために重要な位置づけにあり、都市計画道路の見直し等必要な検討を進め、圏域内道路網の骨格形成に努めます。

自動車交通の利便性向上を図る一方で、バリアフリー新法に準じて町民にやさしい道路整備を進め、歩行者ネットワークの形成、歩道の段差解消、歩道の拡幅など計画的な整備に努めます。

また、少子高齢化や買い物弱者の発生、地球規模の環境問題に対応するため、これまで以上に利用しやすい公共交通の整備や、移動手段の多様化について検討を進めます。

(3) 公園・緑地の整備方針

スポーツ・レクリエーション拠点となっている幕別運動公園については、本町発祥のスポーツであるパークゴルフなど、町民の健康増進や各種イベント等の場として、特色ある公園の形成を図るとともに、災害時の活動拠点にもなっていることから、その機能の維持に努めます。また、十勝エコロジーパークや明野ヶ丘公園については、観光スポットやレクリエーション拠点として機能の維持に努めるとともに、冬期間もレクリエーション機能を持たせるために、スキー場リフト施設の維持・保全に努めます。

街路樹については、平和通や千代田通のイチョウ並木等の保全を図り、適切な維持管理に努めます。

豊かな緑を有する新田の森については、町民の憩いの森であり市街地の核となる緑と位置づけ、その維持・保全に努めます。

この他、既存にある公園施設の計画的な改修を進め、安全で安心できる環境の維持に努めます。

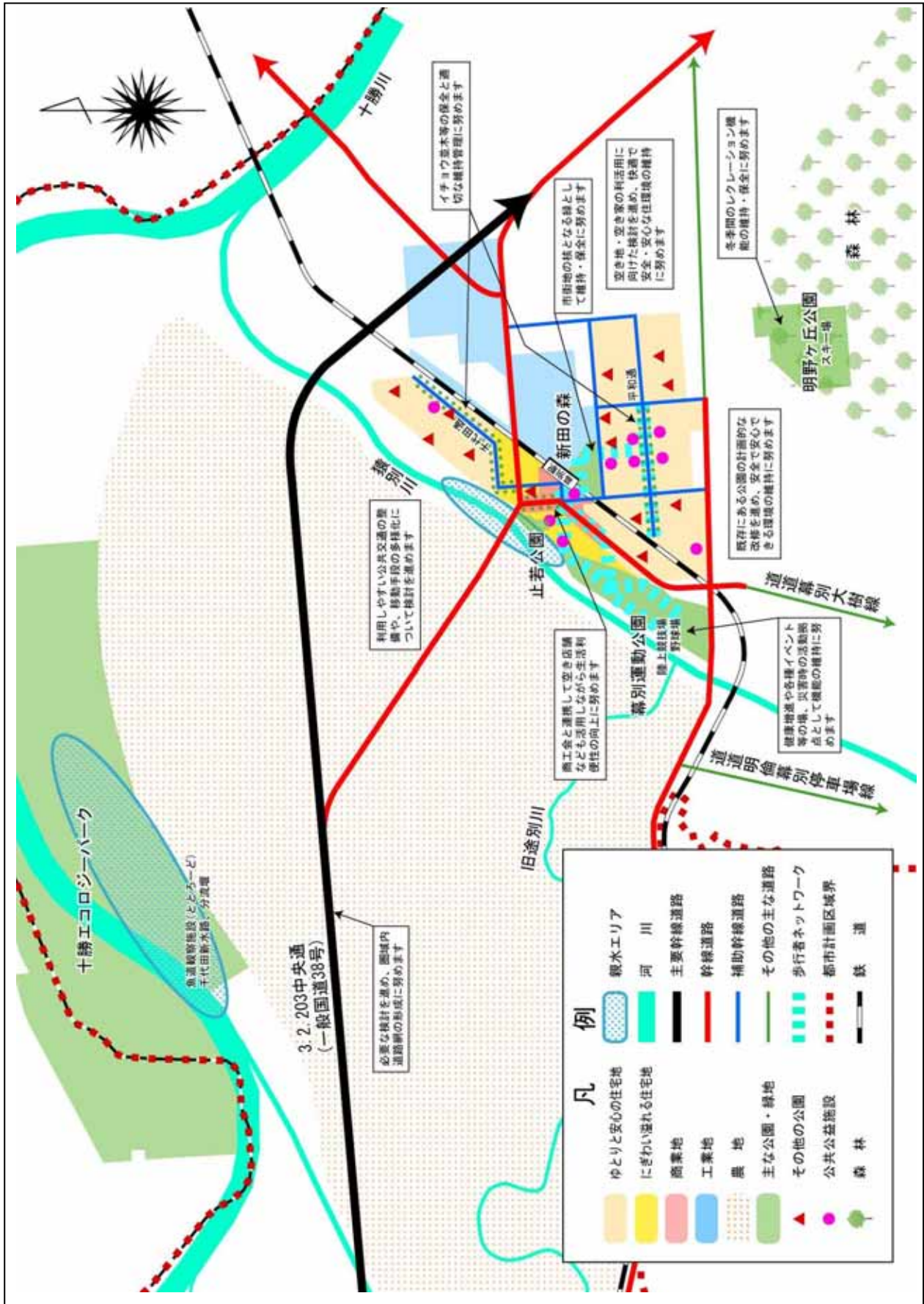


(4) 自然環境の整備方針

市街地周辺の自然環境は、市街地や農地との調和を図りながら保全します。また、猿別川については、様々な生態系が形成されていることから、関係機関と連携を図りながら優れた水辺環境の保全に努めるとともに、適切な維持管理体制の確保を図り、都市防災機能の維持に努めます。



図 幕別地域 整備方針(人・自然・農 -いのちを育む 幕別地域-)



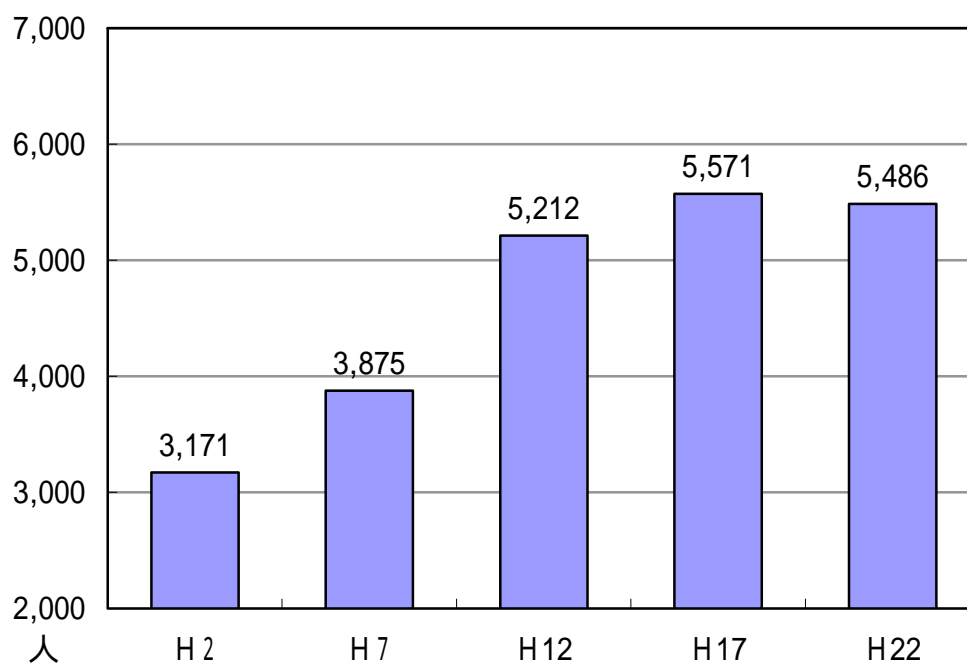
第3節 札内東地域

1 地域の概況

札内東地域は、古くからある札内駅前商店街と、国道38号沿いに立地した商業施設の周辺に住宅地が広がっています。町役場支所、スポーツセンター、コミュニティセンターなどの公共施設や病院、金融機関などの施設がバランスよく配置されている利便性の高い地域です。また、都市基幹公園であるスマイルパークでは、豊かな緑を抱え、地域内を流れる千住川が都市空間に潤いを与えており、都市と自然が共生している地域と言えます。

本地域では、これまで積極的に住宅地の造成が行なわれていた関係から人口が増加傾向で推移していたものの、近年では僅かに減少傾向を示しており、平成22年9月末住民登録人口は約5,500人となっています。

図 人口の推移（札内東地域）



参考資料：住民基本台帳（各年9月末人口）

札内東地域航空写真（平成 21 年撮影）



2 地域の課題

これまで国道 38 号沿線に商業施設の進出が相次いだことから、買い物を中心とした日常生活の利便性が向上する一方で、自動車交通の増加などによる交通事故の増加が懸念されています。今後も同程度の人口規模で推移することが想定されており、安全・安心な都市づくりが求められています。

- ・安全な交通体系の実現のため、歩道等の交通安全施設の整備や、冬の除排雪体制を含めた適切な維持管理が求められています。
- ・札内駅周辺商業地では、施設の老朽化や高齢化、後継者難などによる活力の低下が見られます。
- ・都市基幹公園であるスマイルパークについて、芝生広場の更なる有効活用を検討する必要があります。
- ・千住川の水質悪化が懸念する声があり、対応策を検討する必要があります。

地域別意見交換会にて

- ・千住川は水鳥などが飛来し、子ども達が静かに観察している。豊かな心を持った子ども達を育てるために、水をうまく利用したまちづくりは欠かせない。

3 目指すべき地域の姿

札内東地域の地域づくりの目標を、地域がおかれている環境や課題などを踏まえて次のように設定します。

緑と水豊かな笑顔ゆきかうまち
- 安心して歩けるまち 札内東地域 -

歩行者にやさしい地域づくり

札内東地域は、これまで行なわれていた住宅地の開発によって比較的年齢層の若い人たちの転入が多く見られましたが、高齢化は着実に進行しています。また、公共施設等が複数配置されていることから、歩行者にやさしい道路整備を計画的に進めながら、迅速かつきめ細かな除排雪体制の確保に務め、高齢者や障がい者など、すべての方々が安全で安心して暮らせる地域づくりを目指します。

【住民の声】

・大型スーパーの進出は便利さをもたらしているが、個人商店の閉店は小さな買い物に不便さをもたらしている。

既成の商業地を活かした地域づくり

札内駅前及び国道 38 号沿線にある既成の商業地を活かした地域づくりを進めます。

既成の商業地には、規模の小さな商店からスーパーマーケットのほか、飲食店や金融機関など多種多様な店舗が集積しています。これら地域に根ざした既成商業地の活性化と維持に努め、利便性の高い都市空間づくりを目指します。



都市施設機能の集積を活かした地域づくり

都市基幹公園であるスマイルパークには、文化、教育、スポーツ施設など各種の公共施設が集積しているほか、本地域内にはコミュニティセンターなどが配置されており、都市全体においても文化、レクリエーションの中心拠点として位置づけられます。

このことから、各種施設の機能の充実と連携を強め、施設のさらなる有効活用を図ることにより、施設利用を通じた住民の交流を促進し、ふれあい豊かな地域づくりを目指します。

4 地域づくりの方針

(1) 土地利用の方針

低層の住宅を中心とした閑静な住宅地を形成しますが、札内駅周辺の商業施設と一般住宅が混在している地域では、中密度の土地利用を図るとともに、空き地・空き家の利活用に向けた検討を進め、快適で安全・安心な住環境の維持に努めます。

札内駅周辺商業地については、空き店舗などの活用を図りながら少子高齢化に対応した地域に根ざした商店づくりを誘導し、活性化を進めます。

また国道 38 号沿線にある商業地については、その機能の充実と高い利便性の維持に努めます。

札内東工業団地には、地域生活に関連のある企業が立地していることから、今後も周辺環境に配慮しながらその機能維持を図ります。

この他、主要幹線道路である国道 38 号の沿道については、地域資源を活用した工業系業務施設の立地動向や必要性を見極めながら、周辺環境に配慮した適切な土地利用を図ります。

(2) 交通体系の整備方針

町道幕別札内線は、市街地間交流の円滑化を図る交流軸と位置づけられ、併せて地域緊急輸送道路として災害時の防災機能を確保するため、平常時より適切な維持管理に努めます。

鉄道による市街地分断の解消を目的とした 3.4.207 札内南大通については、都市内道路網を形成する重要な幹線道路として関係機関と連携を図りながら整備を進め、適切な維持管理に努めます。

また、幹線道路等においてバリアフリー新法に準じた歩行空間の整備を計画的に推進し、バリアフリー化した札内駅自由通路などと併せ、札内南地域、駅前や国道沿線の既成商業地及びスマイルパークを結ぶ歩行者ネットワークを形成し、各施設間の相互連携と機能の向上を図り、人々が行き交い地域が一体となることを進めます。

この他、迅速かつきめ細かな除排雪体制の確保に務め、交通安全の向上のため横断歩道などの交通安全施設の充実について関係機関への要請を進めます。

地域緊急輸送道路
町内での災害応急避難活動を円滑に行なうため、主要となる道路を「地域緊急輸送道路」として幕別町防災計画において指定されている道路。

(3) 公園・緑地の整備方針

都市基幹公園であるスマイルパークの豊富な緑や地域内にある街路樹等の保全を図り、子どもから高齢者まで快適に過ごせる空間としての機能維持に努めます。また、災害時の防災拠点としての機能を維持するため適切な維持管理に努めます。

この他、既存にある公園施設の計画的な改修を進め、安全で安心できる環境の維持に努めます。



(4) 自然環境の整備方針

良好な自然環境を有する千住川は、関係機関と連携を図りながら地域住民とともにその環境の維持・保全に努めます。

(5) 住宅建設の整備方針

老朽化した公営住宅・春日東団地については、「公営住宅ストック総合活用計画」(平成 20 年 3 月策定)に基づいて計画的に整備を行います。

図 札内東地域 整備方針

(緑と水豊かな笑顔行き交うまち - 安心して歩けるまち 札内東地域 -)

